

平成14年度 事業計画 (案)

I、総会・会議

1、通常総会 (第45回代議員総会)

期 日 平成14年7月5日 (金) ~ 7月6日 (土)

会 場 アーバンホテル大田市場

東京都大田区東海2-2-1 TEL 03-3799-3100

2、役員会

(1) 理事会

① 平成14年4月16日 (火) ~ 17日 (水)

伊豆・稲取 浜の湯 TEL 092-712-112

② 平成14年12月上旬

(2) 支部長会議

① 平成15年2月 東京都内

(3) 執行部役員会

① 平成14年4月5日 (金) ~ 6日 (土) 虎ノ門パストラル

② 平成14年8月2日 (土) 花き生産協会

③ 平成14年10月19日 (土) 花き生産協会

④ 平成15年1月 メルパルク東京

3、会計監査

平成14年4月5日 虎ノ門パストラル

II、一般事業

1、研究会・研修会の開催

新しい技術の開発と探求により生産意欲の高揚をはかり、会員相互の交流を深め、もって我国ばら切花園芸の振興・発展に寄与する。

(1) 全国ばら切花研究大会 (第33回)

期 日 平成14年11月12日 (火) ~ 13日 (水)

大会・会場 岐阜県 ホテルパーク

研究会 パネルディスカッション

(2) 研修会

① 講演

期 日	平成14年7月6日(土)
場 所	アーバンホテル大田市場
演 題	バラの鮮度保持流通について
講 師	花き研究所流通技術研究室長 市村一雄 氏
演 題	ばらの需要拡大対策について
講 師	青山フラワーマーケット社長 井上英明 氏

2、品評会の開催

(1) 第45回日本ばら切花品評会

ばら切花栽培技術の向上と消費拡大をはかるため、全国規模で開催し顕在需要を喚起し一層の消費拡大をはかる。農林水産祭参加行事として行う。当番県は埼玉県、会場はNHK放送センタースタジオパーク。

(2) (社)日本花き生産協会主催の平成14年度全国切花品評会に出展協力

開催地 アイメッセ山梨 甲府市大津町2192-8

開催月日 平成14年11月1日

3、支部活動の強化・推進

支部組織の充実強化をはかるとともに、支部の事業活動を積極的に推進する。

4、消費宣伝事業の実施

(1) 特別行事として、天皇陛下及び皇太子殿下のお誕生日に「ばらの花」を献花する。

(2) 一般行事及び協力事業として、「父の日にばらの花を」「エランドール賞」「花の文化展」「春のばら展」及び各界が行うイベントで消費宣伝事業を行う。また、各支部、地域においても積極的に推進する。とくに地方公共団体並びに花き関係団体との協力体制を強化し、各種のマスメディアを通して消費の拡大とばらの利活用の促進に努める。

(3) バラ切花の鮮度保持対策

バラの消費をさらに拡大するための手法として、消費者段階で花を長持ちさせる対策を検討する。

期 日 6月14日～16日

場 所 東日本地区、西日本地区 父の日チャリティー会場

内 容 花保ち栄養剤の消費者段階でのアンケート 300件

5、技術・品種等管理特別委員会の組織強化

(1) 生産者育種を育て、会員のメリット具現するため、オリジナル品種の作出を目途に、育種関係者の会合を開き情報の交換を図る。

(2) ばら自家増殖規制緩和による増殖本数の事前報告の徹底化と事業の円滑化に努める。

(3) 新技術の開発普及の促進。

6、日ばら青年部（仮称）の活動強化対策

日ばらの若い担い手の活動を活発化するため、全国集会を立ち上げ定期的に情報の交換と団結を図る。

7、組織強化対策

各種委員会の活動充実強化を推進するとともに、末組織地域の支部結成を勧める。

8、国際園芸博覧会（フロリアード2002）政府屋内出展ばらの提供協力

オランダ、ハールレマミーア地区で開催されている、国際園芸博覧会政府出展に参加協力をする。

なお、調査団を派遣する。

8、会報の発行

会報第50号及び日ばらニュース（N036号）を発行し、会員からの情報収集に務め、関係資料の提供を行う。

Ⅲ、協力事業

1、関係団体への協力

各種関係機関、団体等の行う事業に参加協力する。